

# 【常任委員会審査レポート】

各委員会に付託された議案等について、議会最終日に委員長が審査経過と結果を報告します。

## 総務文教常任委員会 岡田竜一 委員長

### 大崎児童館 子どもの遊び場として存続

議第5号 三条市立保育所条例の一部改正については、現在建築中である裏館保育所について、裏館小学校の隣接地であり、小学校との連携活動をさらに進めることができること、これまでなかった駐車場を整備することにより利便性が向上すること、また2階に木材を使用することで、より暖かみを感じられる施設となっていることでした。

議第6号 三条市立児童館条例の一部改正については、今後の大崎児童館について、児童クラブの利用が増え、自由来館の児童数は減少しているが老朽化が進んでいないことから、子どもの遊び場として存続していき

いとのことでした。

議第10号 平成29年度三条市一般会計補正予算では、ふるさと三条応援寄附金について、平成28年度決算では約1600人の方が2回以上寄付され、2万615件のうち約8%となっていることでした。

報第2号 専決処分報告については、九州北部豪雨の被災地への支援物資について、ストックしていたもの一部と、ストックしていたもので足りないものは購入して送ったことでした。



## 市民福祉常任委員会 笹川信子 委員長

### 東三条駅前に交流スペースを併せ持つ駐車場を開設

議第2号 三条市東三条駅前駐車場条例の制定については、出入場の管理を機械ではなく管理人が行うことに伴い、やむを得ず不在になる時間が生じた場合の使用料について、管理人が入場を確認した時点から使用時間を起算するという運用を考えている。なお、管理人が長時間不在になることはなく、監視カメラを設置し、適正な徴収を行うことでした。

議第10号 平成29年度三条市一般会計補正予算では、食育推進寄附金を受けて作成するパンフレットについて、地場の野菜を使ったレシピを中心に野菜の旬

や直売所の紹介などを掲載したものを作成し、子どもが作る弁当の日に初めて取り組む小学5年生に配付したいと考えていることでした。



## 経済建設常任委員会 坂井良永 委員長

### 三条市ものづくり拠点施設の貸事務所増設に伴い、駐車スペースの在り方についても再考を

議第1号 三条市農業委員会の委員等の定数に関する条例の制定については、農地最適化推進委員の所掌事務について、本議案の議決をいただいてから規則などとして整備していきたい。農地のあっせん会への出席についてはもともと農業委員の役割であるが、農地の最適化に資することであるため、農地最適化推進委員にも出席いただく予定であることでした。

議第8号 三条市ものづくり拠点施設条例の一部改正については、駐車場の不足がずっと課題になっているため、貸事務所を増やすに当たり、入居者や事務局の車を別の所に止めるといった考え方も取り入れてスペース

を確保していきたいことでした。

議第10号 平成29年度三条市一般会計補正予算では、高等職業訓練施設の改修工事について、今回は経費の関係もあり劣化の激しい西側の壁面を優先して改修した。雨漏り等他にも問題が出てきている中、今後は建物全体を見た上で、順次対応できるように検討したいことでした。



問 発電に必要なチップ材年間6万トン、1日200トンとなるが供給はどうか。



バイオマス発電所の燃料

問 総事業費55億円、年間売電益13億円とする保内発電所が稼働する。誘致した市長の所見を伺う。

答 総合計画や環境基本計画に掲げる方向性に合致。国が進める地方創生の理念にもかなう。来年以降一定の税収が見込まれるメリットもある。

総合計画の中のバイオマス活用について

問 農地の荒廃、過疎化に拍車がかかる。対応策を伺う。

平成30年度減反に伴う中山間地農業について



バイオマス発電所のバックヤード

答 立ち上げの際、国の補助金等を活用した製造設備を含め破産管財人の管理下にあり、今後注視していく。

問 同じ轍を踏まないよう大島地内の木質ペレット製造メーカーの経営破綻について伺う。

答 事業所、森林組合などと2カ月に1回のペースで協議を行っている。燃料確保のめどが立っている報告は受けている。

問 熟練鍛冶職人の伝統技術の継承を促進するため、後継人材の雇

事業継承について

答 近隣市町村との広域連携と市町村合併については、将来的には県央地域が一つになるべきだとするの、当初から私自身の思いだ。しかし、今は広域連携の取り組みを一步一步着実に進め、それらを通じて環境を少しでも整えていくことが肝要だと感じている。

問 三条市は、新潟市との間で連携中枢都市圏の形成に係る協約を締結したが、それよりも将来を見据えた広域行政の在り方として、近隣の弥彦村、燕市、加茂市、田上町との広域連携を進め、最終的にこの5市町村による広域合併を目指した方がいいのではないか。

広域連携と市町村合併について

答 集落間調整の仕組みが懸念される。



三条市の工場群

答 人材育成が重要だということは全く意見が一致している。鍛冶に限らないつもりだが、全産業にまで広げるのは難しい。研磨や木工がある意味関の山かなと感じている。